

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制の構築のための研究  
分担研究報告書

「長期フォローアップの本邦における適切なあり方の検討・  
TCCSG や JCCG との協働」

研究分担者 原 純一  
大阪市立総合医療センター、副院長

**研究要旨**

長期フォローアップ(FU)のモデルとして総合病院内の小児がん拠点病院である当院での長期FU外来について調査を行った。2014-2021年に370例が受診し、現在の年齢と治療終了から現在までの年数は、それぞれ平均で21歳と13年であった。約半数が他の診療科も受診しており、11%は院内成人診療科、20%は地域医療機関も合わせて受診していた。受診中断は全体の11%で中断例の年齢と診断からの年数は中央値でそれぞれ、24歳と18年であった。総合病院であれば、成人診療科との連携がとれていけば大きな問題なく移行期医療を含めた長期FUが可能であることを示せた。受診中断例については郵便での受診勧奨と中断理由の聞き取りを行なっているところである。

**A. 研究目的**

本邦における小児から成人への移行期医療を含めた長期フォローアップのあり方を提案する。

**B. 研究方法**

上記目的のために、国指定がん拠点病院の中に存在する小児がん拠点病院である当院での長期フォローアップ(FU)診療について調査した。

(倫理面への配慮)

患者情報は外部に提出されることはな

く、データは stand alone の PC 内に保存される。集計した情報には個人を特定できる情報は含まない。また、収集する情報は実地臨床で収集するものである。

**C. 研究結果**

2014-2021年に当院小児血液腫瘍科長期FU外来を受診したのは370名であり、診断時年齢、治療終了から現在までの年数、現在の年齢の平均はそれぞれ

れ、5歳、13年、21歳であった。現在、20代以上が57%であった。15%の症例は他院で元疾患の治療を受けていた。原疾患の内訳は、造血器腫瘍56%、固形腫瘍22%、中枢神経腫瘍16%、その他（再生不良性貧血で同種移植を受けたなど）6%で、14%の症例は再発経験者であった。治療内容では、同種または自家造血幹細胞移植を受けた例がそれぞれ、19%と14%、放射線治療を受けたことのある例が全体の37%を占めた。

晩期合併症は70%の症例が有しており、約1/3の症例は地域医療機関も併診で受診していた。地域医療機関に受診している理由としては内分泌障害、眼障害、精神疾患の順に多かった。全体の21%（79例）が二次がん検診を受けており、79例の67%が当院で、28%が地域医療機関で受診していた。

長期FU外来での相談内容としては、身体面では、疼痛、易疲労・低体力が、心理社会的面では精神不安定、人間関係が、将来への不安では、晩期合併症、再発、進学・就職の順に多かった。

一方、理由不明の受診中断が40例（全体の11%）あり、年齢中央値24歳（15-49歳）、治療からの年数中央値18年（5-41年）であった。

#### D. 考察

総合病院の中の小児医療センターでがん拠点病院と小児がん拠点病院を兼ねていることから、移行期医療を含めた長期FUは比較的うまく機能していると

言える。晩期合併症を有する症例については、必要とされる診療科を受診しながら当院小児血液腫瘍科に最低年1回受診してもらい、FU全体が滞りなく行われているか検討するハブ機能を發揮している。課題としては、成人例での地域医療機関への受診が進みにくいことである。生活習慣病などは少なくとも3ヶ月ごとの受診が必要であるが、若年であるほど地域医療機関に受診する習慣がないため移行が困難なことが多い。地域医療機関での生活習慣病検診や当該年齢に到達したら必ずがん検診を受けるなどの健康教育が重要である。

今回の調査では途中中断例が全体の11%で認められた。現在、このような症例には郵便での受診勧奨や中断理由の聞き取りを行なっている。また、希望する例では電子メールアドレスを記載してもらい、今後活用していく予定である。

#### E. 結論

今回の調査で総合病院であれば、小児の血液腫瘍科を中心とした長期FUは概ねうまく機能することを示せた。今後受診中断を防ぐ方法などを検討し、全国のモデルとして提案できればと考えている。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

- |               |              |                 |
|---------------|--------------|-----------------|
| 1. 論文発表<br>なし | なし           | 2. 実用新案登録<br>なし |
| 2. 学会発表<br>なし | 3. その他<br>なし |                 |
- (発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

##### 1. 特許取得

表

| 合併症とフォローの状況  | 例数 (%)    |
|--|-----------|
| 晩期合併症なし (小児血液腫瘍科のみでフォロー)                                 | 103 (28%) |
| 晩期合併症ないが、リスクあり経過観察のため他科受診中<br>(全員、小児代謝内分泌内科)             | 10 (3%)   |
| 晩期合併症あり (小児血液腫瘍科のみでフォロー)<br>=軽度の高脂血症、高血圧、高尿酸血症、骨塩低下、肥満など | 74 (20%)  |
| 晩期合併症あり・当院小児系診療科でフォロー                                    | 66 (18%)  |
| 晩期合併症あり・当院成人診療科も併診                                       | 45 (12%)  |
| 晩期合併症あり・地域医療機関も併診  | 72 (20%)  |
| 計  | 370       |

